いわき民報

平市田町四八　電話三八一番
編輯兼發行人　兼印刷人　千輝克巳
日刊　但月曜を除く
定價一月四十円　一部一円五十錢
發行所　いわき民報社

眼鏡專門　各眼科醫指定
玉屋
平市二丁目TLE910

いよいよ年度内に　市廳舎着工と決る
市會追加豫算案を無修正可決

定例平市會は四日午後一時半開會追加豫算案千四百六十八万二千六百四十八円提出、單行案は可決し、豫算案は各部委員會に附議、散會後全日中に委員會を開いてそれぐ審議し五日午前九時半本會議を開いて原案通り無修正で可決した

追加豫算の主なるものは市吏員の給與二千九百二十円ベースから三千七百九十一円ベースに繰上げた差額金の三百七十八万円を始め、庶民住宅五十戸建築費六百万円、二十二年度の分讓住宅費中値上り補正の起債二百万円等が擧げられている、市廳舎もいよく本年度内に着手することになり二百七十万円の起債豫算ば前年度に計上を議決した

ている

市吏員らの待遇改善
三千六百九十一圓ベースへ　ボーナスも平均千圓見當で

市吏員の待遇を改善する三千七百九十一円ベースは敎職員警察官、その他市役所關係の全員に適用され、これで吏員の生活は相當緩和されることになるが、然しこれでも自治警察署長が四千円市の課長級で五千円、という低率である然し今度の豫算は現行給二千九百二十円に對する三割增を目標とし、職階制給與の實施が多少おくれることになつたから、職階制が實施されると現在の平均制が改められて、警察署長とか課長などの主任級が相當給與が良くなる豫定である

吏員の出張旅費も近く倍額に增額されるほか費用辨償中、宿泊料と日當の十割に相當する手當を支給することになつたから出張する毎に赤字になやんでいたことも解消するボーナスは市會協議會で一人平均千円、二十二万円給與することに決定し、盆の費用を多少浮かしてやることになつた

ポンプ更正　消防費は百十一万円增額となつているが、給與が八十四万円で大部分占め、自動車ポンプの車台を購入して古いポンプを改良するため二十八万円計上されたが、これで使用不能のポンプが一台更生する

土木費　は第一小學校の坂下法止め改修工事費二万円計上されている程度で見るべきものなし

教育費　も八十一万五千円增額されているが、此も大部分給與の增額で第二中學校のピアノ購入費十万円が含まれ

轉げ込む六百万圓
入場税委讓で平市の收獲

歳入の主なるものを擧げると市税收入で五百七十三万円、財産貸排代に於て分譲住宅賣却二百四十一万円、火葬場値上げに依る使用料四万円、國庫補助金四十四万円は汚物消掃の失業救濟費に充當される他樺太引揚者の住宅費五十九万円全額補助を初め、社會事業、保健衛生、産業經濟などに總額二百九十九万円の補助がある、寄附金は四十七万円で消防團に三十七万円、敎育費に十万円計上、雜收入五十六万円は縣水産事務所委託工事費の受入れで完成すると市へ移管する豫定、市債二百一万円は庶民住宅建築費に充當する

市税のうち入場税の地方移讓に依り五百九十七万円が市税收入にころげ込んだ譯だが、映畵館の入場料値上げに依つて八百万円から一千万円に增收される見込みで市當局もホクくもの、この外遊興飲食税で二十万円、接客人税では藝妓、酌婦などから月二百円宛五万六千円見込んでいる

社會勞働施設費　庶民住宅は五十戸を

母子寮は三十五世帯を收容する

社會及び勞働施設費は五百二十六万円增額となつているがこれは今年度に於て庶民住宅五十戸と樺太引揚げ無縁古者の住宅十戸建築費が大部分である、目下建築を急いでいる母子寮が完成すると戰爭犧牲の未亡人が三十五世帯救はれることになり、今度の庶民住宅五十戸新築で市内の住宅不足が相當緩和される

清掃で敷地　保健衛生費で百四十万円增額されているが、このうち八十五万円が汚物掃除費に充てられ、市内のゴミを一掃しながらこのゴミで市役所の建築敷地（新川畑方）を埋立、一鳥二石の効果を狙つたもの

分讓住宅　諸支出に於て二十二年度の分讓住宅建築費二百四十一万円計上されたが、これは前年度工事の不足額を起債に求めて補充し、買收したものから回收するもの

平和通舗装　補修決定
受益者寄附十万円

平市内三丁目角から警察署に至る平和通りは簡易鋪裝のため甚しく破損、交通に支障を及ぼしているため、縣當局も年度内に補修することに決定平市は地元負擔金二十六万円のうち市費十六万円、受益者寄附金十万円を追加豫算に計上した

なおこの收入十六万六千円を入場税に求めることになつた

市の財政年二回公開
きよう公表條令も設定さる

地方自治法二百四十四條に依つて市役所の財政狀況を年二回公開、説明する事になつているので、平市では五日市會で公表條令を設定し九月末迄の財政狀況説明書を十月十日から二十日まで公表することになつた、場所は市役所内で執務時間中

火葬料値上　市の火葬場使用料は甲種三百円を六百円に、乙種二百八十円を五百五十円、丙種二百五十円を五百円にそれぐ二倍値上げした

一家七名中毒
二名は重態に陷る　原因不明で調査中

市内童子町根本亮輔さん方では四日夕食後、配給のスープミックスにうどん粉を混ぜダンゴにして食べた處二時間程して妻アサさん（四九）を始め長男博君（二八）三男進君（二一）四男武君（一七）次女セツ子さん（一四）が次々と吐しや下痢等の中毒症狀を起し殊に博、進の兩君は便所に立つたまゝ意識不明となる等大騒ぎとなつたが附近の鈴木醫師の應急手當を受けて全部生命はとり止めた然し博、進の兩君は重態である、なお原因にきて目下平保健所で食品衛生係木村係員が檢鏡調査中

ミックスにやられたか

妻アサさんは語る

三日も同じ方法で食べたがスープミックスの量が少なかつたため何ともなかつた、いま（五日朝）でも胸がやけてフラくしています、矢張りミックスが惡かつたのではないかと思います

東部石復低位炭委員會

九日石炭會館に

東部石復低品位炭對策委員會初顔合せ會は九日午前九時半から石炭會館に開き、低品位炭對策について石復綱目の具体策を練るが、目下勞組側でも各組織体毎に對策案をもち特に石復との提案を望んでいる、委員は經營者側鈴木本一氏（大日本勿來所長）ほか七名、勞組側一條寅作氏（炭勞）ほか七名

統制の強化に　特別取締班二班編成
自動車荷馬車のヤミ輸送監視

平地區署では列車取締りの強化に伴つて昨今トラックや荷馬車甚しきは乘用自動車等まで利用しての統制物資のヤミ輸送をするものが激增、列車取締りのみでは到底効果ないのに鑑み今後これらのヤミ輸送も眼こぼしなく取締り、不正は容赦なく處斷することになり、新に特別取締班二班を編成、晝夜の別なく管内幹線路はもちろん里道その他でもいやしくもヤミのルートとみらるゝ要所要所には臨時檢問所を設置、斷乎たる態度に出ることに決定

炭鑛現地調査

東部石復では各炭鑛の要望を聽くため九日から十三日まで原健幹事長ほか七名が秋田縣内炭鑛を皮切りに現地調査を開催する

郷土唯一の文藝誌　文祭同人組識へ
三田文學で全國主要誌に推薦さる

地方文化の推進母体として活潑な活動を續けていた劇作家河内潔士氏の主宰する文藝誌『文祭』は既に七號に及んだが、今度三田文學九月號で火野あし平氏等の九州文學や北海文學、中京の新文學等々と肩を並べて全國主要同人雜誌として推薦されることに決つたので、いよく九月早々發刊豫定の第八號から組織を改めて純然たる同人雜誌となすことに決つた同人の顔觸れは

富澤有爲男、妻木新平、鈴木善太郎、木村不二男、小高根二郎、鈴木實、額賀誠志、千輝克巳、河内潔士氏等のメンバーで編輯は河内氏が指導宮出甫氏等が當る、なお會員の投稿は至急遲くも本月末までに平市舊城跡三七河内潔士氏宛に送られたいとのことである

放射線科　内科
谷口醫院
平市一丁目横丁

農業會財産暫定貸付
整理特別措置令で

なお農業會の解体は十四日までとなつているが農業協同組合發足に伴つて財産移讓を實施せねばならず、これに對する農協組法制定に伴う農業會解体の整理に關する法律が一應の制定をみてもその内容には何等具体性を有していないので、赤字農業會が所有財産を評價する場合その基準もわからぬため一應市町村農業會整理特別措置令により新發足の農協組に所有財産の暫時貸し付けを行うことになつた

娘白浪捕わる　市内長橋町角田ケイ子（一六）ー假名ーは去月十七日大野村玉山鑛泉富士屋旅館女中安原アヤ子（一九）の衣類三點その他四件の盗みを働いていたこと發覺、四日平市署眞野、磯目兩刑事に内郷町御厩の鑛泉旅館に投宿中を捕われた

江名町の殺人
就寢中の老爺やらる

五日午前七時ころ江名町上神白字西大原無職西袋七藏さん（六三）が自宅茶の間の蚊帳のなかで唐鍬ような鈍器で後頭部を一撃され、朱にそまつて死んでいるのを夜勤から歸つた娘の江名郵便局交換手タイ子さん（一七）が發見、屆出により平地區署、平檢察廳及び縣本部から係員が急行、檢視中だが、現場は金品等を物色した樣子もなく、ものとりの行爲ともみられず、原因や犯人等一切不明全家は去る二十年東京から疎開して來たもので、前記七藏さんと娘タイ子さんの二人暮しであつた

農協組未設置十ケ村
十四日ころまでには全部發足か

先月縣農協組連合會が結成され郡下農協組もそれぐ各業種別部門連合會に投資加入したが、まだ登記をふまず發足をみないのは左の二町十ケ村で十四日ごろまでには結成されるとみられている

山田、入遠野、湯本、川部、内郷、好間、草野、川前、神谷、大野、澤渡、永戸箕輪

石炭協會園碁大會　石炭協會文化部では七日午後一時から石炭會館内日本間に第一回圍碁大會を開く

落盤で慘死

川部村小川字前野内廣部炭鑛坑外夫須貝三次郎（六七）は四日午前十時半ころ仝僚に貸したスコップをとりに入坑、落盤で慘死

幼兒溺死　小名濱町諏訪小野三郎さん二男武夫君（七ツ）は附近の馬上萬左衛門さん六男典義さん（六ツ）と四日正午ころ造船所附近で海水浴中二人とも溺れ、即時助けられ典義さんは助かつたが武夫君は死亡した

熟練印刷工募集

◇植字、文選に經驗ある者
◇年令三十五才以下、平市内居住の者に限る
◇希望者は履歴書持參されたし

いわき民報社

自轉車泥御用　小名濱町下町丹野修一（二一）馬上清次（二一）の兩名は全町役場前の自轉車置場から役場の一台を盗み自宅に隠していたが四日御用、なお兩名はこのほか網ドロ數件も自供している

東寶封切館に

平東寶では從來日本ニュースは二系だつたが東寶と交渉の結果、去る三日から一系（封切）となり同時に東寶映畵も濱三郡地方の封切館として發足した、ファンにとつては嬉しいことである

いわき寸言

◉入梅と二百十日の混血兒のような天氣がつゞく、政界を反映したかナ
◉市の財政狀態年二回公開は良し然し果して見にゆく市民はツモ幾人?といわれぬよう
◉平築はウルサ方も案外こんなときは出かけぬものというのが今日までのことでしたナ

衣料登錄のお願ひ

八月十日の衣料品の登錄には御近所おさそい合せの上、内容の充實した品物の仕入能力の充分ある左記の商店へ是非共御投票を願ひます

二丁目　伊關吳服店　電話三三三番
二丁目　山家メリヤス店　六二五番
銀座通　ハシモトヤ糸店　〃一四番
三丁目　ふでや洋品店
四丁目　ツルヤ商店　電話一四〇番
ウロコヤ商店　〃四〇一番
中央通　マサゴヤ商店　四六番

磐中同窓會定時總會

磐城中學校同窓會定時總會を左記により開きますから多數御出席を願います

◇日時　八月十日午後一時
◇場所　磐城高等學校講堂

會員各位
磐城中學校同窓會
會長　野崎喜八郎

七夕用紙類

豊富に取揃えました

七夕用色紙、金銀紙
五色テープ、加工用ボール紙
其の他七夕用紙一式

平市一丁目（電一八）
坂本紙店

三丁目のやまと百貨店もいよく完成に近づきました
九月初めより
開店の豫定です

衣料品の登錄は―　是非當店へ　お願い致します

皆樣の店ふでや洋品店が此度復興新築を機會に百貨店として皆樣にサービスさせて頂く事になりました。皆樣の御援助により登錄店として頂きますれば必ず皆樣の御滿足の行く樣に配給致す覺悟で御座います

登錄はふでや　やまと　どちらでも結構です

七夕復興祭

七夕紙及材料
クス玉折紙その他
豐富に取揃へてお待ちしております

平市一丁目　森下商店

海（二）

小名濱から　吉屋貞一

それから猶一つ注目すべきものはその漁獲の盛衰である。和歌山縣の漁船が明治七八年頃まで大漁の時は平均一艘で二万本位であつたのが、明治十年あたりから不漁續きで一ケ年に一千本から二千本に過ぎなくなつて、全國的にみて明治三十年代から當分その衰退は甚だしいものがあつたそうである。その理由が各地で論議せられたけれども、潮流の異變に關する殘念ながら考慮は頗る僅少であつた。明治十四年ころに鰹が東京灣内に入り込み、沖合僅に二十町ぐらいの時もあつたとは驚くべきで、その後に漁況が好轉したのは機動船が普及しはじめてからである。これは明治三十六年に靜岡縣の丸屋文七が二十トンの西洋型漁船を建造して五馬力の發動機を据付けたのに始まる。然しこれは不成功に終つたので、同縣水産試驗場で三年後に米國製の發動機を備えた二十五トンの富士丸を建造して非常な好成績を納めたそうである。

一般に漁網が麻製になつた元祿以前は藁製が多かつたと聞いている。わが國は今次の戰爭で昭和十五年前後に二千五百万貫に達した鰹漁業も昭和十九年は半分以下の一千万貫に低落した。さて今秋からの鰯漁業はどうだろうか。昭和十六七年頃から鰯の不漁期が續いて同十九年に九千八百万貫の數字は十一年の六億五千万貫の一割五分ということである。すくなくとも鰯については養殖法を案出する必要があろう。こんな話は際限がないから、波の動きでも見ることにしよう。『春の海ひねもすのたりのたり哉』の句と夏の海の感じは別なものがある。同じ波でも人間に一番身近かに思える。親しみあるように寄せては返している。

その彼方の際に一匹の蟹が見るともなく目に止つた。聞く（ヤイ蟹君よ、汝元來見苦しき横歩きを本性となすや）蟹曰く（ヤイ人間君よ、汝元來知らざらんも、わが祖先は人類より二億萬年以前に地上に出現して、連綿として今日に至る光榮ある種屬である、さりながら子孫の不心得のため腦力を輕んじ、胴と尾は遂に頭部の空洞に卷き込まれて殘念ながらこの姿である。然るに人間は智力を無形の武器として地上に文化を誇る有様なれども、今やその智識は欲望の捕虜となつて混迷をたどること無きや、万物の靈長たる人間君よ、千思万考以つて如何となす哉』ハハアーと目をこすつたら、もう姿は見えない。吹き出した泡のかたまりが、ポツンと一つ。生意氣な蟹もいるものだ。たく木の歌に『東海の小島の磯の白砂にわれ泣きぬれて蟹と戯る』というのがあるけれども、今日は剣もほろろだつたと苦笑した。

本月の主食配給案成る

二十日分は米と麥で充足約す

食糧配給公團平支部では八月中の主食配給について同福島支局と連絡、見透しをたてゝいたがこの程次の如く具体的に決つた

米十五日分、麥五日分、砂糖五日分、脱脂大豆二日分、馬鈴薯二日分うち既にモチ米五日分とジャガイモ五日分更にところにより干アンズと干ウドン（市内）を各一日分配給したところもあるがジャガイモと干アンズは來月分の前渡分になる見込みで今月分とは關係がなくなる豫定、今月分のもち米と麥で計二十日分は確保することを約してゐる

衣料品登錄は四ケ所で

當日新衣料切符も交付さる

市では十日の衣料品登錄を午前八時より四時まで次の所で行う、當日は飯米通帳に綜合通帳を持參すれば投票用紙を刷り込んである新衣料切符が渡される

◆平署大會議室―長橋、古研町、田町、一、二、三丁目、材木町、鍛冶町、南町、久保町、才槌小路、八幡小路、十五丁目

◆第三小學校―四、五町目、新川町、鎌田町、立町、堤の内、白銀、大町、月見町、鐵道官舍、禰宜町、正月町

◆第二小學校―胡摩澤、仲町、番城跡、北目、中鹽、四ツ波、樽の內、大室

◆第四小學校―上中下平窪

供出成績は極めて順調

麥八〇％イモ九五％

市郡下のジャガイモ及び麥供出はその後極めて順調さを示しジャガイモは既に四日現在で九五％を示し、完遂町村は七ケ町村に達した又麥も當初の割當からみるときは未しながら今般の補正割當からみると早くも八〇％という好率となつている

でいる

夜間部特設

小名濱定時高校

小名濱町定時制高校は去る三十一日午後から合格者百五名の入學式を擧行したが、合格者中七〇％は日本水素工員であるため夜間部開設の要に迫られたので、特に第一小學校第四校舍西隅の二教室を開放晝夜二回の教育を實施することに五日決つた

相馬伊達から イモ移入

29，500貫

配給の確保期し

食糧事務所割當調整課では市郡下の食糧事情は、郡内生産高では賄う事が出來ないのに鑑み今度伊達郡から二万三千貫、相馬郡下から六千五百貫のジャガイモを移入、配給の確保を期することに決したいずれも近く入荷するが、これに依り現在までは平均六貫の豫定を七貫匁に增加の計劃

指定鑛は目標を突破

前年同期に較べては增炭 然し目標からみては赤字

七月の出炭調べ

常磐炭田七月の出炭實績は東北部目標二〇六、〇〇〇トンに對し九四、八％一九五、三六九トンの實績、東部目標八三、〇〇〇トンに對し八五、四％七〇、九三二トンの合計二八九、〇〇〇トンの目標に對し實績九二、一％の二六六、三〇一トンで二二、六九一トンの赤字であつたが前年の同月に較べると東北部二三八、二二一トン東部七、二二二トンのいづれも增加の合計三一、〇四四トン增炭振り、なお常磐、好間の指定鑛は共に割當目標を突破の好調振りを示している、稼働日數は下旬の十日を加えて二十六日、管內三大鑛坐礦の出炭左の通り（カツコ內目標高單位トン）

常磐七二、〇〇〇（七一、五〇〇）好間二五、五〇〇（二五、〇〇〇）大日本一五、六五二（一六、〇〇〇）小田六、〇七一（六、七〇〇）隅田川三、八六七（三、八〇〇）日曹赤井六、四五〇（六、二〇〇）日曹磐城一、六六二（二、二〇〇）矢郷一、九〇〇（二、三〇〇）磐二、一六〇（二、〇〇〇）小野田二、五〇〇（二、三〇〇）上山田五、六八〇（四、七〇〇）品川黒田二、九二九（二、七〇〇）三和一、八三八（一、八〇〇）三松一、三五〇（二、一〇〇）田川八、七六〇（八、九〇〇）

辛くも目標の三分の一

四月―七月のカツオ漁中間報告

228．548貫

平水産事務所では四月から七月までの縣下カツオ船小名濱十二隻、江名十三隻の水揚高（縣外の分も含む）を中間報告として集計中だつたが右によると今年度生産目標七十万貫に對し二十二万八千五百四十八貫と發表した、此によるとこの期間中二万貫以上漁獲した漁船は小名濱港所屬第二壽和丸、江名港所屬第五日康丸、福盛丸の三隻で一般に低調、またカツオ漁に最高第五航海の記錄をもつものは小名濱港第三海津見丸、第三香取丸、江名港第十八拓洋丸福盛丸の四隻であり、所屬別に見ると小名濱港關係九万一千九百五十八貫、江名港關係十三万六千七百八十九貫で差引江名港所屬の漁船が四万四千八百三十一貫も余計水揚げして遠洋漁業陣の意氣を示した、なおマグロを追つてカツオ漁に參加しなかつた漁船は小名濱港第五大勝丸、第二瑞寶丸の二船でともに二千貫乃至四千貫程度で大した漁獲を見せていない

ツト虫被害防除講習會

縣では十日午前九時から大浦村農協組に動力噴霧機によるつと虫病虫害防除講習會を開く

縣外移出量 四十四俵

六月よりも減つた 七月の移出證明

石城地方事務所經濟課では連日主要食糧の縣外移出證明書を發行しているが七月中の發行數字は四百二十九件、人員にすると約四倍數にのぼり縣外移出量はざつと十七石五斗で約四十四俵、移出先は京濱方面から仙台方面が多く病氣療養公用出帳が主な用件となつている、先月當りは列車取締りが手厳しかつたので發行件數が六百五十一件もあつたが本月は取締が援慢になつたゝめか發行願者が少くなつたと係員は語つている、なお旅行者の願に發行される旅行者配米通帳は未だ縣から到着していない

水稻穗肥は

郡青年會農業技術者協會では四日神谷村農事試驗場に山形縣の篤農家田中正助氏を招き水稻の穗肥に就いての講習會を開催したが田中氏によると金肥不足の折柄水稻の穗肥には自給肥料の中でも稈肥切り藁、或はモミガラ、笹、かや等のケイ酸分のある取肥料を與へること、出穗前にはあまり窒素肥料を與へると倒れ易くなるから特に注意が必要であるとのこと

審査員も決る

第二回增炭懸賞論文募集

平石炭局では同下福島軍政府ヘーワーズ氏の指示で石炭增産推進運動の一環として各炭鑛從業員から第一回の投書論文を募集中十日で一應締切られたが第二回投書募集を左記要領で實施することになつた、なほ審査委員は、局、勞組、經營の三側から二名づつ左の通り推薦された、應募資格、投書要領は前回同樣、用紙並に字數は自由締切八月末日、課題自由、當選發表九月十日予定、賞金は一等八百円、二等五百円、三等三百円（但し入賞人數に制限なし）

▽勞働者側炭勞常磐支部事務局長添田計、全厚生文化菊地勇、經營者側東部石炭鑛業聯盟御代喜彌、常磐炭鑛業所長大越新、平石炭局鈴木幸四郎、渡邊奏行

素晴しい平局の簡保

本年度の目標を遙かに突破す

平郵便局では縣下のトップを切つて簡易保險の目標額を突破、最近の金詰り狀態の中にも良く貯蓄運動を推進している、同局今年度目標額は第一回拂込金三十二万四千円であつたが同貯蓄獎勵動員が全力をあげ簡保重點主義で來たため七月末現在で目標に對し一三二パーセントに達し一應初志の目的を達した、今月以降は目下目標額六百五十四万四千円に對し六一パーセントの實績を示す定額貯金の目標突破に全力を擧げることになつている

受配申請は毎月三日に

該當事業種一覽

勞務用物資並に加配米の受配該當者は毎月三日までに平勞働基準監督署へ受配申請書を提出すれば良いのであるが、折角の特典を知らず申請せぬものがあるとのこと、なお受配事業種は左の通り毎月三日迄に提出すれば良い

石炭鑛、業鐵鋼業、化學肥料、農業、纖維工業、鑛山製錬、船舶、石油、金屬工業、機械、鐵道車輛、窯業、化學工業、印刷製本、製鹽、林業、水産業、蠶絲業、畜産業、食料品工業、煙草耕作、衛生用品、土石採取業開拓、土木、建築、進駐軍關係勞務、進駐軍用PT、陸運海運、倉庫業、通信電力、瓦斯コークス、船舶救難業、水道、電信電話、建設業、病院及公衆衛生業、外勤警察官吏、消防官吏、刑務所官吏、氣象觀測者、紙幣及造幣、新聞關係、國民學校訓導

なかなか評判良い 學徒アルバイト

學資稼ぎのアルバイトに石城地方事務所税務課では磐女高磐農高磐高、平工高、二中の生徒等十四名を雇い二十九日から遊興飲食税の一部改正に伴つて發行される遊興飲食税料金領料證綴或は入場券の檢印押しに連日事務所の宿直室に熱心なアルバイト振りを發揮している賃金は一日七十円で期間は十日間本月八日までとなつているが税務課では仕事はむずかしいものでないが二人前位やる熱心さには感心されている

クワバラ計理事務所
計理士 税務代理士
桑原トオル
平揚土17 電815

靴と運動具の店
何品でも豐富に揃つて居ます
野球チーム御編成の節は御相談下さい
平市田町三田小路（包宅會社トナリ）
正確の店 大塚運動具店
電話77

ニュースタイル
洋裁店
世界館前

早く親切に
有名商店

いわき民報案内

七月ノヒット盤入荷
洋樂、輕音樂、歌謠曲
レコード、蓄音機、コロンビアレコード入荷
平市五丁目 金光堂時計店 電一九五

衣書骨董 貴金屬 書畫類
高價買入
平市南町 中央會館 電九一五

機具と金物類なら當店へ
金物一式卸小賣
川口屋 柳内商店
平市田町 電九二

パン
定評ある製品
有限會社 平製パン
平市カジマチ（デンワ21）

家庭金物一般
マルヘイ商店
平市銀座街 電一四

カメラ
高價買入
平市三丁目本通
タナカ
電六七六

機械と工具
電導裝置一般
平市四マルトモビル
佐藤鐵工販賣部
電七三二・本社三六二

生徒募集（晝間部 午前八時）（夜間部 午後六時）
速成科（高女卒）三ケ月
普通科（尋高卒）五ケ月
平市田町五五（電二〇四）
榮タイピスト養成所

キモノと洋服……買入販賣
福屋
（平驛下車左通り角から五軒目）
平市シロガネ町

内科 小兒科
平市仲田町六九
三井醫院
三井五郎
電六一

笠原式チルド
ロール製粉機
瑞光式籾摺機
新津式脱穀機
クボタ發動機
外優良農器具
代理店
動力農機具 販賣修理
正金商會
平市村木町一三
電話九三一番
◇徒弟入用◇

店舗移轉御挨拶
平素格別の御引立を蒙り有難く御禮申上げます、今般一層の御便利を計り度いと存じまして左記の所で營業を致しましたから相變らず御愛顧の程を切にお願い致します
◎移轉先 二丁目遠藤帽子店より東へ五軒目
平市鍛冶町
吉田屋呉服店

誰でも簡單に良く染まる
責任付き優良品
家庭染料 みつわ染
雜貨店 藥店にて販賣中
卸元 みつわ染 さかいや
（平市六丁目通電四八五）

◇小型自動車修理部
ダイハツ マツダ ダットサン くろがね
平市平和通
三浦商會
電八六四番